

# YIA 会員だより 2005年9月号

発行：吉野川市国際交流協会・広報部 (Tel : 42-4117、Fax : 42-4499)  
ホームページ URL : <http://www.tcu.or.jp/kamojima/yia/>

## 9月の活動計画

	日(曜日)	時間	会場および問合せ先	行事名および内容	備考	担当
定例事業	25(日)	18:30	文化研修センター	定例理事会		事務局
	毎週木曜日	19:00~21:00	文化研修センター	英会話教室 講師:アリソンさん		
	毎週金曜日	19:00~21:00	川島教室	日本語教室 講師:手塚功先生 サポーター:住友初美さん		支援部
	毎週日曜日	14:00~16:00	石井教室			
	毎週日曜日	19:00~21:00	上板教室			
	毎週金曜日	19:00~21:00	文化研修センター	日本語教室 講師:村上瑛一先生 サポーター:		
	毎週日曜日	13:00~15:00				
11、18日(日)	19:00~21:00	治作マンション	PPC(英会話フリートーク) アン・中村さんを囲んで	無料	交流部	
17(土)	10:00~17:00	徳島大学 常三島キャンパス	学会発表 (ホームステイ事業に関して) 発表者:野口、吉野、小林	*1		
8月11日(木) ~9月6日(火)	開館時間中	川島図書館	「ドイツ高校生滞在記」展示			
18日(日) ~30(金)	開館時間中	美郷ほたる館	「ドイツ高校生滞在記」展示			
適宜		外国の方のお家 など	訪問インタビュー;吉野川市在住の外国人の方を訪問しお話を聞きます			支援部
25(日)	15:00~21:00	鴨島駅前マミー広場	まちかどコンサート、フリーマーケット YIA移動事務局をおきます。ここで情報収集、入会手続きなどができます。			環境部
14(水)	18:00~		広報部部会	*2	広報部	

\*\*\*\*\* 皆さんの参加を募集しています。\*\*\*\*\*

*1 ホームステイ事業のポスターセッション	*2
7月に10人のドイツ人高校生が吉野川市その他でホームステイをしました。その際の活動をまとめて「日本語教育方法研究会」で発表します。 日時:2005年9月17日(土)10:00~17:00(12:40~13:40休憩) 場所:徳島大学常三島キャンパス 大学開放実践センター (吉野川市国際交流協会は午後3時からポスター・ディスカッションです) 日本語教育に興味のある方はどなたでも見学できます。	広報部もやっと部員が増えました。部会を開いてこれからのことを話し合いたいと思います。先日、広報部員として名乗りを上げてくださった方以外の方もいちど覗いてみてくださいませんか?ご意見お待ちしております。 市原(Tel:24-5052)

## 8月の活動報告

### 《交流部》

8月4日から18日まで吉野川市役所市民ホールにおいて、「ドイツ高校生滞在記」を展示しました。また現在川島図書館において展示中です。レムゴ市の高校生の、吉野川市での活動や、書道の作品、俳句などをたくさんの人々に紹介することができました。

また8月15日に、中国・タイ・南アフリカ共和国・カナダの外国人の方々が鴨島町の阿波踊りに参加しました。にわか連とともに、110名の踊り子がよしのリズムに酔いました。

この夏、地域の人々の異文化交流への意識がより高まった暑い夏ではなかったでしょうか。

### 《環境部》

#### 「阿波踊りのお弁当後始末」

参加者が協力して分別しました。おかげで、大きな段ボール5箱分もあった弁当が、プラスチック容器は小さな箱ひとつ、燃えるごみは小さな買い物袋ひとつにまでなりました。環境部としては、このような小さなことから実践、啓蒙していきたいと思っています。

#### 「ギターデュオ、いちむじん、開催」

若い青年二人の瑞々しく、清冽な音楽を楽しみました。二人の今後の活躍が期待されます。

### 《事務局》

#### 国際交流バスツアーの参加者を募集します。

日時:11月6日(日)午前8時~午後7時  
訪問先:京都市国際交流協会の視察と交流の後、金閣寺などの観光地を訪問します。  
申し込み:瀬尾まで(24-2762) 定員になり次第締め切り



### 《広報部》

今月も無事「会員だより」を発行でき、ほっとしています。皆様からのご意見をお待ちしています。

を持っているところが大きいと思う。

レムゴ市から 50Km 離れたミンデン・ギムナジウムで日本語を学んでいる高校生にも書道のワークショップを行った。学生は日頃日本語、特に文字に関して充分学習しているのでそれぞれ自分の好きな漢字を練習し、作品にすることができた。

今回吉野川市において生の日本語や文化に触れたことによって、これからのドイツでの日本語授業に対する意欲が高揚し、今まで以上に日本への関心が深まればと思う。

### 「ハイデさんからの手紙」 (2)

5月10日、徳島市内のバス停で3人のパワフルな女性が迎えに来てくれました。この守護天使 野口さん、小林さん、吉野さんは私のために予想も及ばぬ「計画」を作ってくれており、「さあ、急ごう！」というのです。実際、これは時差ぼけをしない最高の方法だということがわかりました。そしてその夜の歓迎パーティで、私はすでにまったくくつろぎ、いつでも三味線体験ができそうに思えました。この手紙に日記を写し取ることはできませんが、いくつかの大きな出来事をお話ししなければなりません。吉野さん宅の伝統的な畳の部屋と、4世代の家族の人たちがすぐに大好きになりました(94歳の留子さんは1日だけ訪ねてくれました)。私の日本語は非常に拙いものですが、敏子さんとはそれぞれのやり方で意思を通じ合えました。敏子さんと美穂さんのおいしくて独創的な料理を楽しむには言葉なんて要らないものですね。私は多くのことを学び、また見ることができました。着物を着て日本舞踊の個人レッスンを受けましたし、かずら橋までも渡りました！和太鼓の練習、阿波踊り講習会、芸術家や有名なカヌーの名手やその他の最高に魅力的な人々との出会い、竹のステージがある土手や甲斐先生の美しいコンサートホールでのコンサートなど。なかでも《パワフル女性チーム》と会うときはいつも楽しく、笑いとなぞなぞのような言葉に満ち満ちていました・・・ああ、あの時が懐かしい・・・カヌーでの素敵な吉野川めぐり、鳴門教育大学と徳島大学でのドイツ語クラス、2箇所の病院と小学校訪問、150人の日本人と一緒に14kmハイキング、脇町、藍染、徳島駅前広場のテレビ中継などなど、数え上げたらきりがありません。 以下次号

### 「フランスの日野さんからの第3便」

前略

7月末にディジョンを離れ、1週間のロアール地方旅行の後、ロアールとパリの間にある小さな村、モントワール・シユルルロワールに引越しました。サンドリンという名の職人さんが一人で経営しているアトリエで4週間、毎日朝9時から夕方7時までルリュールの研修を受けています。ディジョンで学んだとは方法が違っており、最初は戸惑いましたが、いろんな方法を学べてとても興味深いです。サンドリンも学校と3箇所の研修先でそれぞれ違ったルリュールの方法を学び、その後アトリエを開いた時に自分にあった方法を選んだそうです。そういう点から数箇所のアトリエで研修を受けるのはよいことだそうです。古い歴史のある奥深い仕事なので、職人さんによってやり方が違うようです。

とはいえ大まかな工程(本を、表紙とそれぞれの折丁にばらして、痛んだ場所を補修し、綴って、背を補強し、表紙をつける)は同じです。各工程の中で、効率のよい作業の進め方、仕上がりをきれいにする方法、そして表紙の素材の選び方など職人それぞれの好みから違いが出てくるのでしょうか。

以下次号



### 《支援部》

7月24日、上板町にいる60名の研修生のためのバーベキューが開催されました。私も上板教室の生徒と一緒に招待を受け、参加させていただきました。当日の生徒は20数名もあり、ちょっとためらいましたが、研修生がすべて私の元生徒なので、お言葉に甘え参加しました。総勢80名を超える大人数でしたが、みんなの顔は生き生きと輝いており、食べながら花火やダンスを楽しみました。暑い夜のひと時を野外で、違った学習ができたと思います。来日間もない学習者にとってはよい経験になりました。YIA から住友初美さんが手伝ってくれました。

### 第2回訪問インタビュー

Christopher Burne(クリストファー・バーン)さん

出身はロンドン南部。オックスフォード大学卒業。

高校生のときに初めて来日、今回は3度目の来日だそうです。

今年7月川島高校と鴨島養護学校のALTとして着任しました。

Q 初めて来日の目的は何ですか

A 埼玉で2週間のホームステイをしました。そのときの印象がよかったので、日本をもっと見てみたいと思ったのです。

Q 2度目は?

A 大学生のとき、友人と本州、九州を旅行し、いろんな地域を回りました。「安芸の宮島」は景色、建物共にすばらしく、印象に残っています。富士山にも登りたかったのですが、天候が悪くて登れませんでした。

Q なぜ今回徳島を希望したのですか

A 日本4島のうち四国と北海道が残っていました。北海道は少し遠いし寒いので、四国にしました。徳島は橋で本州と繋がっているから便利だし、また、田舎なので時間の流れがゆっくりで、人々がやさしく、親しみやすいだろうと思いを希望しました。いずれ北海道へも行くつもりです。

Q 大学での専攻は何ですか

A イギリス、アメリカ、日本などの歴史です。日本語は中、高の6年間勉強しました。ひらがなとカタカナ、それに少しですが漢字も読み書きできます。

Q ご家族は?

A 両親、兄と弟、それに妹の5人家族です。

Q 日本の好きな食べ物は何か

A すき焼きとカツ丼です。生魚は苦手で食べられません。



### 「レムゴ市訪問記」

レムゴ市はドイツ北部ノルトライン・ヴェストファーレン州の人口約4万人の、小高い丘と緑に囲まれたヨーロッパ中世の歴史漂う伝統的な街である。メインストリートに並ぶ建造物は1600年代に建てられたルネッサンス様式のもの。

レムゴ市は日本に縁のあるエンゲルベルト・ケンペルの生地である。そのケンペルが創始者であるエンゲルベルト・ケンペル・ギムナジウムは町の中心部に位置している。そこで日本語授業を受けている高校生10人が7月に吉野川市を訪問した。日本語教育に情熱を傾けているブラッドフォーゲル校長とナオミ・ホルストマン先生の尽力によるものだと思う。彼らが日本語を学ぶのは付加的資格への需要・日本のビジネスパートナーとの交流への関心もあるが、日本に純粋に興味